

令和 4 年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和 5 年 9 月

三重県監査委員



監 査 第 6 1 号  
令和 5 年 9 月 8 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員 伊 藤 隆  
三重県監査委員 中瀬古 初 美  
三重県監査委員 野 村 保 夫  
三重県監査委員 伊 賀 恵

令和 4 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 5 年 5 月 31 日付け総務第 07-48 号  
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。



## 目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	8
1	事 業 の 概 況	8
2	患 者 数 の 状 況	8
3	決 算 の 状 況	9
第4	病 院 別 の 状 況	20
1	こころの医療センター	20
2	一 志 病 院	24
3	志 摩 病 院	28
第5	決 算 諸 表	35



# 令和4年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

## 第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和4年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査を実施した。

### 1 審査の対象

令和4年度 三重県病院事業会計

### 2 審査の着眼点及び実施内容

令和4年度三重県病院事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書の内容について、

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (3) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (4) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

## 第2 審査の結果及び意見

### 1 審査の結果

「第1 審査の概要」のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に行われているものと認められる。

### 2 審査の意見

#### (1) 令和4年度決算と次期中期経営計画の策定について

令和4年度病院事業会計については、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響で前年度に引き続き入院患者数は減少したものの診療単価の上昇により医業収益は増加したが、エネルギー価格の高騰等により医業費用も増加したため、医業損益は前年度と比べ約4,961万円悪化した。また、感染患者受入れのための病床確保に係る国からの交付金が大きく減少したため、純損益は、約5億2,304万円の黒字となったが、前年度に比べ約4億4,378万円悪化した。なお、累積欠損金は約73億円と依然として多額であるが、病院別では一志病院は約2,156万円まで減少している。

「三重県病院事業 中期経営計画（平成29年度～令和2年度）」については、令和4年度も引き続き計画期間を延長して単年度計画としているが、その成果目標の達成状況には改善が見られない。国からは「公立病院経営強化ガイドライン」が示されており、感染症対応における役割等、県立病院を取り巻く環境の変化への対応が求められる中で、地域医療構想等との整合を図りながら令和5年度中に「公立病院経営強化プラン」（次期中期経営計画）を策定することが求められている。

このことから、国からの交付金の減少が予想されるなかで、県立病院として新興感染症への対応等の必要な役割を果たしながら、地域の医療ニーズに的確に 대응していくことにより安定的な医業収益の確保を図り、計画の目標達成に向けて取り組むなど健全な経営に努められたい。また、中期的な観点から病院事業の経営を計画的に推進することで医療サービスが安定的かつ継続的に提供されるよう、次期中期経営計画を策定されたい。

なお、令和4年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。



収益的収支の状況

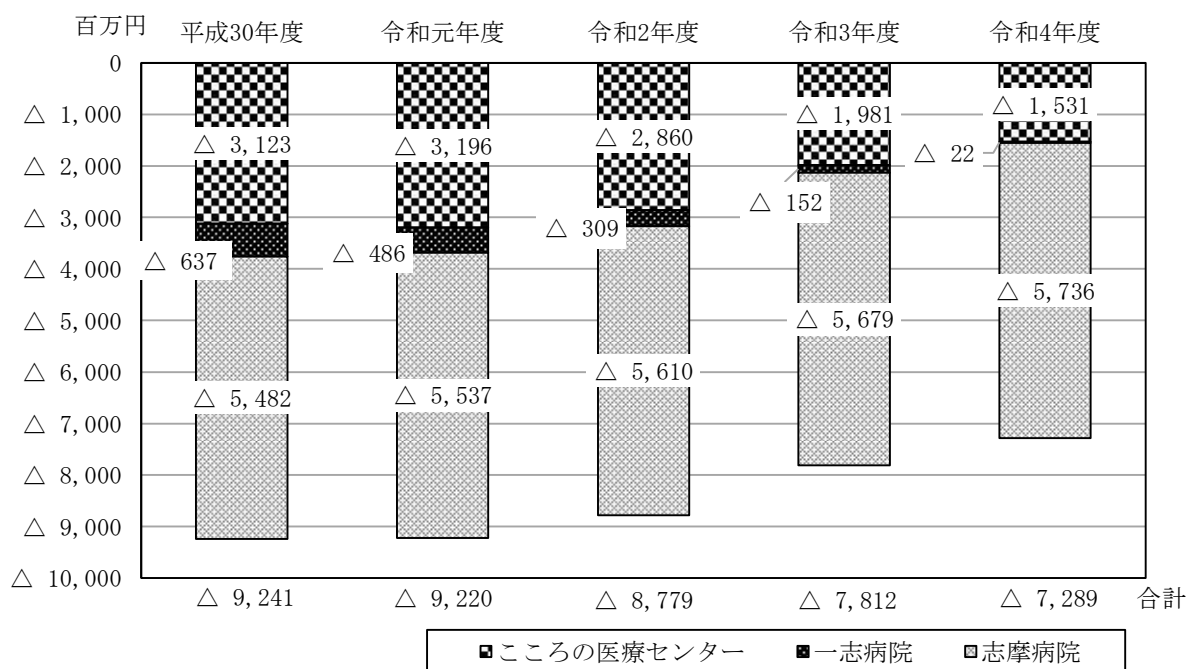
(単位：千円)

病院名等	区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度比 (%)
こころの医療センター	医業収益	1,710,447	1,694,859	15,588	100.9
	医業費用	3,119,694	3,071,058	48,636	101.6
	医業損益	△ 1,409,247	△ 1,376,200	△ 33,047	-
	医業外収益	1,982,917	2,380,749	△ 397,832	83.3
	医業外費用	123,766	125,351	△ 1,585	98.7
	経常損益	449,904	879,198	△ 429,294	51.2
	純 損 益	449,904	879,198	△ 429,294	51.2
一志病院	医業収益	654,803	648,916	5,887	100.9
	医業費用	925,444	876,645	48,799	105.6
	医業損益	△ 270,641	△ 227,729	△ 42,912	-
	医業外収益	428,476	410,613	17,862	104.4
	医業外費用	27,162	26,473	689	102.6
	経常損益	130,673	156,412	△ 25,738	83.5
	純 損 益	130,673	156,412	△ 25,738	83.5
志摩病院	医業収益	6,401	7,417	△ 1,016	86.3
	医業費用	898,611	927,111	△ 28,500	96.9
	医業損益	△ 892,210	△ 919,695	27,485	-
	医業外収益	896,757	913,766	△ 17,009	98.1
	医業外費用	62,086	62,861	△ 776	98.8
	経常損益	△ 57,538	△ 68,790	11,252	-
	純 損 益	△ 57,538	△ 68,790	11,252	-
県立病院課	医業収益	0	0	0	-
	医業費用	97,078	95,946	1,133	101.2
	医業損益	△ 97,078	△ 95,946	△ 1,133	-
	医業外収益	97,653	96,508	1,145	101.2
	医業外費用	574	562	12	102.1
	経常損益	0	0	0	-
	純 損 益	0	0	0	-
合計	医業収益	2,371,651	2,351,191	20,460	100.9
	医業費用	5,040,827	4,970,760	70,067	101.4
	医業損益	△ 2,669,176	△ 2,619,569	△ 49,607	-
	医業外収益	3,405,802	3,801,636	△ 395,834	89.6
	医業外費用	213,587	215,247	△ 1,660	99.2
	経常損益	523,039	966,820	△ 443,781	54.1
	純 損 益	523,039	966,820	△ 443,781	54.1

(注) 1 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。特別利益、特別損失の計上がない場合は、経常損益と純利益は同額となる。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

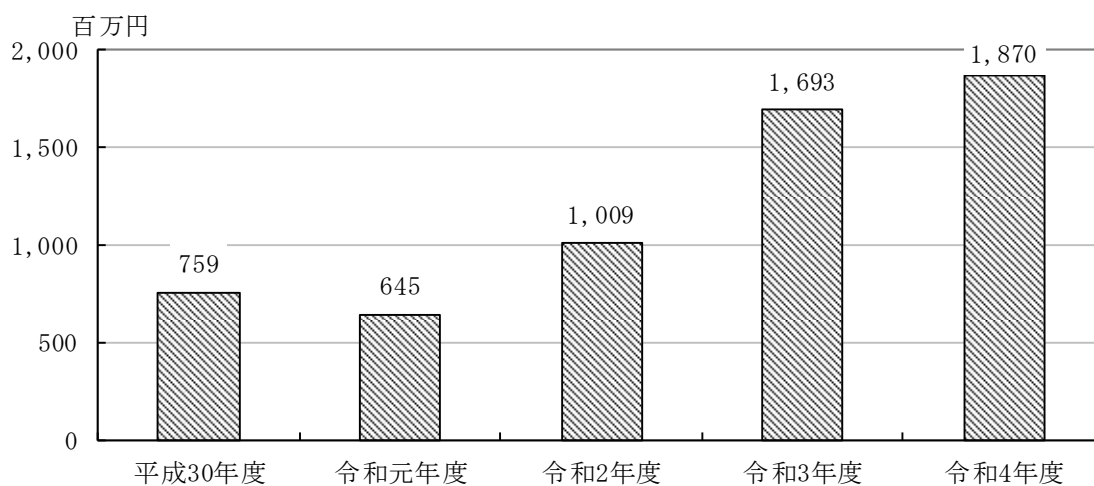
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 未処理欠損金（累積欠損金）の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 内部留保資金の推移



(注) 流動資産から流動負債（企業債を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。資金不足比率の算出方法に基づき算出している。

## ア こころの医療センター

前年度に引き続き入院患者数の減少は続いているが、診療単価の上昇により医業収益は約1,559万円増加した。一方で、病床確保に係る国からの交付金の減少により医業外収益が約3億9,783万円減少したため、純損益は、約4億4,990万円と3年連続の黒字となったが、前年度に比べ約4億2,929万円悪化した。

入院患者数が回復していないことや、国からの交付金の減少により今後の収益確保が難しくなっているなかで、県立病院に期待される医療ニーズに対応していくため、平成30年度から進めている経営改善プロジェクトにおいて、病床管理の徹底や医療・福祉関係機関との連携強化等による医業収益の確保に取り組んでいることから、今後も引き続き経営改善に努められたい。また、医師不足が継続しているため、大学等への継続的な派遣要請や勤務医にとって魅力ある病院づくりを行うなど医師の確保に努められたい。

今後も精神科医療の中核病院として、精神科救急・急性期医療及び認知症治療、依存症治療等の専門的医療を提供するとともに、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努められたい。

## イ 一志病院

前年度に引き続き入院・外来患者数の減少は続いているが、診療単価の上昇により医業収益は増加した。一方で、給与費等の医業費用も増加したため純損益は前年度に比べ約2,574万円悪化したものの、約1億3,067万円の黒字となり平成25年度から10年連続の黒字となった。

新型コロナの影響等から患者数の減少が続いていることも踏まえ、今後も引き続き公立病院として必要な役割を果たしていくことができるよう、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の取組、情報通信技術の活用等、地域のニーズに沿った医療をより幅広く提供しながら収益の増加を図るなど健全な経営に努められたい。

また、地域の高齢化が進み、住民の医療ニーズがより一層高まっている中、総合診療医やプライマリ・ケアを担う人材育成に取り組むとともに、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践に取り組むなど、引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努められたい。

## ウ 志摩病院

志摩病院は、平成24年度から指定管理者制度により病院経営を行っており、令和4年度からは第2期指定管理期間に入っている。

前年度に引き続き、新型コロナ対策として病床の確保、検査、ワクチン接種等に対応しつつ、地域のニーズに応じた診療機能の充実、医師の確保等に取り組んでおり、

常勤医師の採用により婦人科診療を拡充しているが、入院患者数は新型コロナ発生以降、減少が続いており回復していない。

第2期指定管理期間の「三重県立志摩病院の管理運営に関する基本協定」（以下「基本協定」という。）では、県内の診療機能の集約化・拠点化の状況を踏まえ必要な診療機能を確保するなど、良質で満足度の高い医療を安定的・継続的に提供することを求めている。また、地域医療確保交付金制度により、診療機能が維持できるよう経営努力によってもなお不採算となる特定診療科を支援することとしている。

このような状況を踏まえ、基本協定に基づき、志摩地域の中核的な医療機関として安定的・継続的な医療が提供されるよう、指定管理者と十分な連携を図り、二次救急医療等の診療機能の充実、医師の確保等に取り組むとともに、経営改善が着実に進められるよう、指定管理者に対する指導や支援を行われたい。

## (2) 未収金の回収と発生防止について

令和4年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の過年度未収金は、前年度に比べて約281万円減少し約5,083万円となっている。

令和4年度については、引き続き電話督促、催告書等の送付及び臨戸訪問を行い、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行うなどにより、約366万円の過年度未収金を回収しているところであるが、新型コロナに係る診療費において新たな未収金が発生しているため、引き続き早期回収に向けての取組を進められたい。

また、高額療養制度等の各種福祉制度の申請支援や、クレジットカードによる収納等の公金収納の多様化に取り組んでいるが、新規発生件数等は増加しているため、引き続き未収金の発生防止に取り組まれたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：件、千円)

病 院 名	区分	令和4年度末 (A)	令和3年度末 (B)	比較増減 (A)-(B)
こころの医療センター	件数	226	257	△ 31
	金額	36,849	39,432	△ 2,583
一志病院	件数	72	20	52
	金額	1,264	1,039	225
志摩病院	件数	107	108	△ 1
	金額	12,721	13,172	△ 451
合 計	件数	405	385	20
	金額	50,833	53,643	△ 2,810

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成24年3月31日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：件、千円)

病院名	区分	令和4年度				令和3年度				比較増減		
		新規発生 (A)	回収 (B)	不納欠損 (C)	計 (A-B-C)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (A-a)	回収 (B-b)	不納欠損 (C-c)
こころの医療 センター	件数	25	39	17	△31	22	56	5	△39	3	△17	12
	金額	2,937	3,184	2,336	△2,583	2,901	4,146	1,896	△3,140	36	△962	440
一志病院	件数	54	2	0	52	7	4	0	3	47	△2	0
	金額	249	24	0	225	266	308	0	△42	△17	△284	0
志摩病院	件数	0	1	0	△1	0	5	0	△5	0	△4	0
	金額	0	451	0	△451	0	970	0	△970	0	△519	0
合 計	件数	79	42	17	20	29	65	5	△41	50	△23	12
	金額	3,186	3,660	2,336	△2,810	3,168	5,425	1,896	△4,153	19	△1,765	440

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 第3 経営の概要

#### 1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、令和4年度末時点で計766床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに348床である。一志病院は、許可病床数は82床であるが、療養病床全36床が休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床52床が休床となっており、稼働病床数は一般病床184床及び精神病床100床の合計284床である。

#### 県立病院の概要

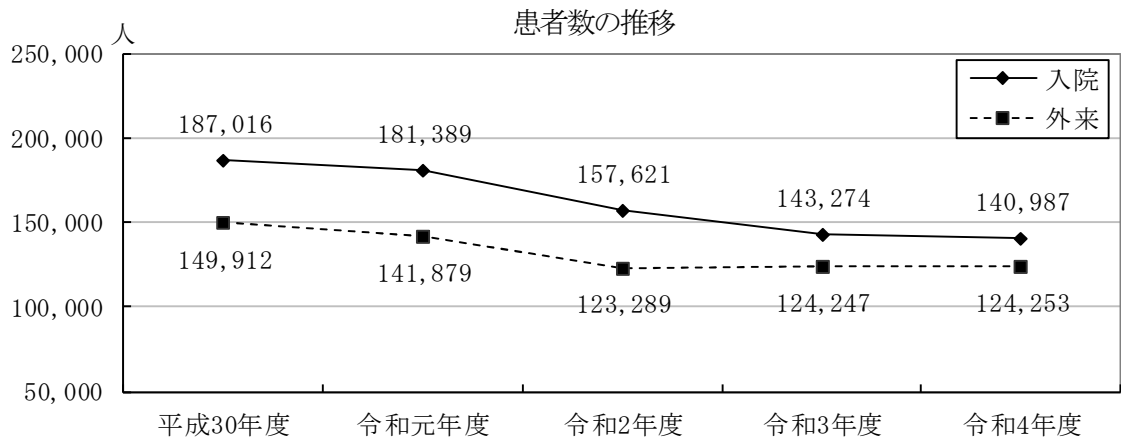
令和5年3月31日現在

病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (休診中のものを除く)		精神科、内科、 脳神経内科、歯科 (内科・歯科は入院患者 にのみ対応)	内科、外科、眼科	内科、循環器内科、外科、 脳神経外科、小児科、 産婦人科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、 精神科、脳神経内科、 放射線科、漢方内科、漢 方皮膚科
許可 病床 数	一 般		46 (46)	236 (184)
	療 養		36 ( 0)	
	精 神	348 (348)		100 (100)
	計	348 (348)	82 (46)	336 (284)

(注) 許可病床数の( )は、稼働病床数

#### 2 患者数の状況

令和4年度の入院患者数は延べ140,987人(1日平均386人)で、前年度に比べ2,287人減少し、外来患者数は延べ124,253人(1日平均511人)で、前年度に比べ6人増加している。



### 3 決算の状況

#### (1) 予算の執行状況

##### ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
病院事業収益	5,846,329,000	5,793,861,196	△ 52,467,804	99.1%
医業収益	2,339,004,000	2,382,504,066	43,500,066	101.9%
医業外収益	3,507,325,000	3,411,357,130	△ 95,967,870	97.3%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
病院事業費用	5,361,166,000	5,265,765,097	95,400,903	98.2%
医業費用	5,223,405,000	5,135,435,191	87,969,809	98.3%
医業外費用	137,761,000	130,329,906	7,431,094	94.6%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額を5,246万7,804円下回っているのは、主に一般会計繰入金が見込みより少なかったことによる。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額を9,540万903円下回っているのは、主に経費(光熱水費、委託費等)等の医業費用の執行残による。

## イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
資本的収入	1,126,532,000	1,077,331,169	△ 49,200,831	95.6%
企業債	712,100,000	662,900,000	△ 49,200,000	93.1%
県費負担金	410,432,000	410,431,169	△ 831	100.0%
雑収入	4,000,000	4,000,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,743,152,000	1,690,740,634	37,997,086	14,414,280	97.0%
建設改良費	737,532,000	685,123,021	37,997,086	14,411,893	92.9%
企業債償還金	720,020,000	720,017,613	0	2,387	100.0%
長期借入金償還金	285,000,000	285,000,000	0	0	100.0%
長期貸付金	600,000	600,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を4,920万831円下回っているのは、主に建設改良費の一部を繰り越したことに伴う企業債の減による。
- ② 資本的支出の決算額と繰越額の合計が予算額を1,441万4,280円下回っているのは、主に病院増改築工事費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額6億1,340万9,465円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額423万9,753円及び過年度分損益勘定留保資金6億916万9,712円で補てんしている。



## (2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	5,777,453,121	6,152,827,115	△ 375,373,994	93.9%
医業収益	2,371,651,078	2,351,191,325	20,459,753	100.9%
医業外収益	3,405,802,043	3,801,635,790	△ 395,833,747	89.6%
総費用	5,254,413,800	5,186,007,165	68,406,635	101.3%
医業費用	5,040,826,858	4,970,760,178	70,066,680	101.4%
医業外費用	213,586,942	215,246,987	△ 1,660,045	99.2%
医業損益	△ 2,669,175,780	△ 2,619,568,853	△ 49,606,927	-
経常損益	523,039,321	966,819,950	△ 443,780,629	54.1%
純損益	523,039,321	966,819,950	△ 443,780,629	54.1%

令和4年度の総収益は57億7,745万3,121円で、前年度に比べ3億7,537万3,994円減少している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金の減等に伴う医業外収益の減による。

総費用は52億5,441万3,800円で、前年度に比べ6,840万6,635円増加している。これは主に、エネルギー価格上昇に伴う光熱水費の増等に伴う医業費用の増による。

この結果、純損益は5億2,303万9,321円の黒字となったが、前年度に比べ4億4,378万629円減少している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが4億4,990万4,324円の黒字、一志病院が1億3,067万3,406円の黒字、志摩病院が5,753万8,409円の赤字となっている。

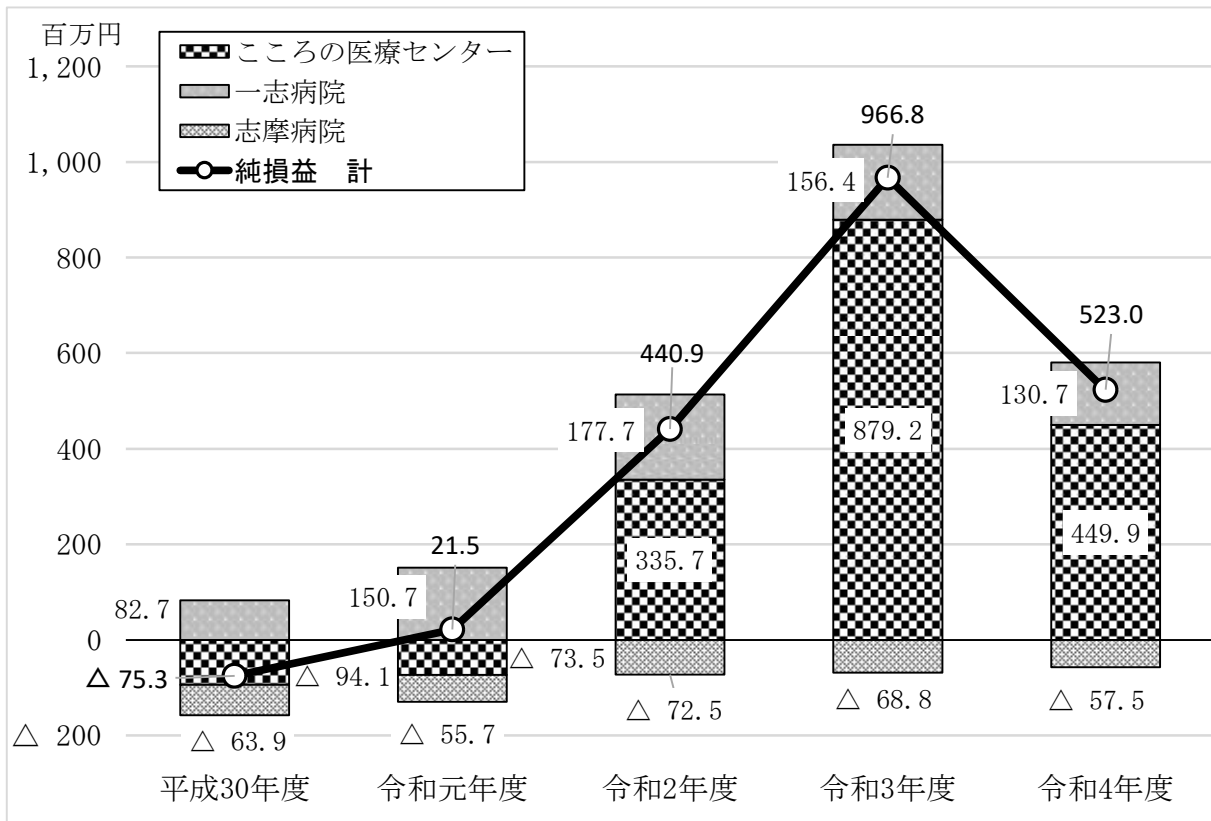
病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
こころの医療センター	3,693,363,710	3,243,459,386	449,904,324
一志病院	1,083,278,884	952,605,478	130,673,406
志摩病院	903,157,956	960,696,365	△ 57,538,409
県立病院課	97,652,571	97,652,571	0
合計	5,777,453,121	5,254,413,800	523,039,321

病院別純損益の推移

(単位:百万円)



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

## (3) 一般会計繰入金

(単位：円)

病院名等	区分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
こころの 医療センター	収益的収入	1,846,902,000	2,194,050,000	△ 347,148,000	84.2%
	資本的収入	251,461,277	250,177,000	1,284,277	100.5%
	計	2,098,363,277	2,444,227,000	△ 345,863,723	85.8%
一志病院	収益的収入	379,782,860	364,499,000	15,283,860	104.2%
	資本的収入	24,514,790	54,989,500	△ 30,474,710	44.6%
	計	404,297,650	419,488,500	△ 15,190,850	96.4%
志摩病院	収益的収入	610,989,000	615,921,000	△ 4,932,000	99.2%
	資本的収入	133,992,602	146,517,400	△ 12,524,798	91.5%
	計	744,981,602	762,438,400	△ 17,456,798	97.7%
県立病院課	収益的収入	96,563,000	95,379,000	1,184,000	101.2%
	資本的収入	462,500	463,000	△ 500	99.9%
	計	97,025,500	95,842,000	1,183,500	101.2%
合計	収益的収入	2,934,236,860	3,269,849,000	△ 335,612,140	89.7%
	資本的収入	410,431,169	452,146,900	△ 41,715,731	90.8%
	計	3,344,668,029	3,721,995,900	△ 377,327,871	89.9%

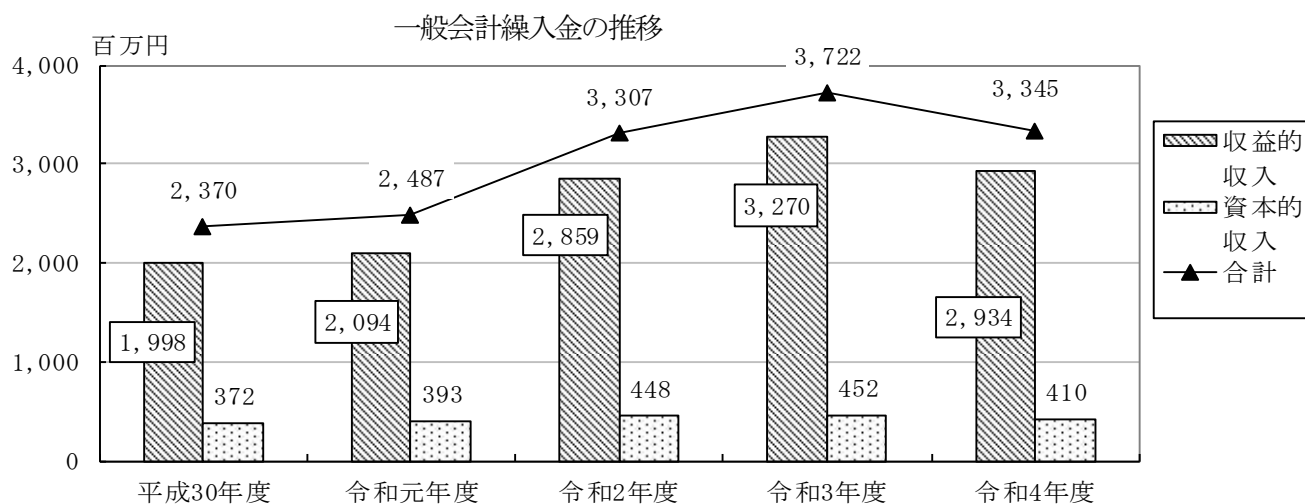
(注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金

2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

令和4年度の収益的収入の繰入金は、29億3,423万6,860円で、前年度に比べ3億3,561万2,140円減少している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等を財源とした繰入金の減による。

資本的収入の繰入金は、4億1,043万1,169円で、前年度に比べ4,171万5,731円減少している。これは主に、新型コロナ対策に係る建設改良費の減に伴う繰入金の減による。



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

#### (4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	令和3年度末 残高	令和3年度 処分額	令和4年度 変動額	令和4年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 6,440,579,827	0	523,044,099	△ 5,917,535,728
資本剰余金	1,371,553,972	0	4,778	1,371,558,750
受贈財産評価額	12,053,972	0	4,778	12,058,750
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 7,812,133,799	0	523,039,321	△ 7,289,094,478
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 7,812,133,799	0	523,039,321	△ 7,289,094,478
資本合計	△ 6,129,170,049	0	523,044,099	△ 5,606,125,950

- ① 資本金の令和4年度末残高は、変動がなかったため、令和3年度末残高と同額の3億1,140万9,778円となっている。
- ② 剰余金の令和4年度末残高は、令和3年度末残高△64億4,057万9,827円から利益剰余金等により5億2,304万4,099円改善し、△59億1,753万5,728円となっている。

なお、未処理欠損金の令和4年度末残高は、令和3年度末残高78億1,213万3,799円から令和4年度の純利益分5億2,303万9,321円が減少し、72億8,909万4,478円となっている。

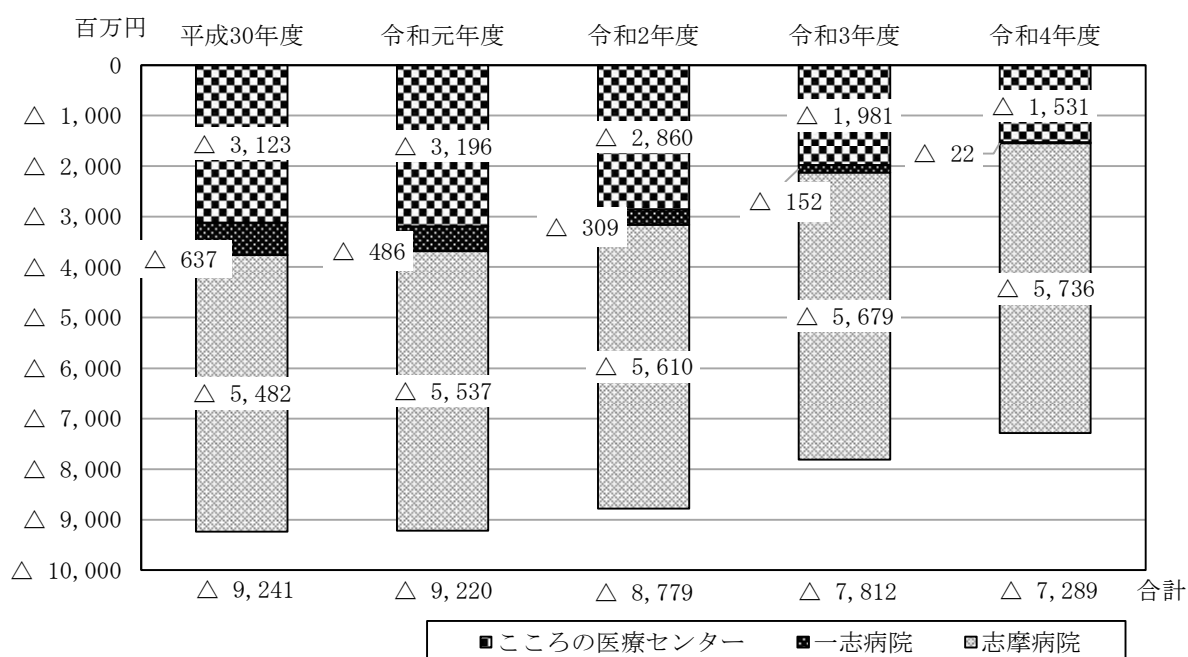
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	令和4年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
剰余金	△ 5,917,535,728	0	△ 5,917,535,728
資本剰余金	1,371,558,750	0	1,371,558,750
未処理欠損金	△ 7,289,094,478	0	△ 7,289,094,478

未処理欠損金 72 億 8,909 万 4,478 円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

令和4年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、72 億 8,909 万 4,478 円で、その内訳は、こころの医療センターが15 億 3,121 万 1,503 円、一志病院が2,156 万 2,561 円、志摩病院が57 億 3,632 万 414 円となっている。

## (6) 財政状態

## ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
固定資産	7,992,067,518	7,909,085,699	82,981,819	101.0%
流動資産	2,533,685,826	2,283,650,727	250,035,099	110.9%
<b>資産合計</b>	<b>10,525,753,344</b>	<b>10,192,736,426</b>	<b>333,016,918</b>	<b>103.3%</b>
固定負債	10,896,534,407	11,314,587,118	△ 418,052,711	96.3%
流動負債	1,370,924,166	1,311,161,222	59,762,944	104.6%
繰延収益	3,864,420,721	3,696,158,135	168,262,586	104.6%
<b>負債合計</b>	<b>16,131,879,294</b>	<b>16,321,906,475</b>	<b>△ 190,027,181</b>	<b>98.8%</b>
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 5,917,535,728	△ 6,440,579,827	523,044,099	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 5,606,125,950</b>	<b>△ 6,129,170,049</b>	<b>523,044,099</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>10,525,753,344</b>	<b>10,192,736,426</b>	<b>333,016,918</b>	<b>103.3%</b>

## (ア) 固定資産

決算額は79億9,206万7,518円で、前年度に比べ8,298万1,819円(1.0%)増加している。これは主に、施設・設備の増による。

## (イ) 流動資産

決算額は25億3,368万5,826円で、前年度に比べ2億5,003万5,099円(10.9%)増加している。これは主に、未収金の増による。

## (ロ) 固定負債

決算額は108億9,653万4,407円で、前年度に比べ4億1,805万2,711円(3.7%)減少している。これは主に、他会計借入金の償還に伴う減による。

## (ハ) 流動負債

決算額は13億7,092万4,166円で、前年度に比べ5,976万2,944円(4.6%)増加している。これは主に、退職手当に係る未払金の増による。

## (ニ) 繰延収益

決算額は38億6,442万721円で、前年度に比べ1億6,826万2,586円(4.6%)増加している。これは主に、企業債の償還に伴う県費負担金受入の増による。

## (ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

## (ヘ) 剰余金(△は未処理欠損金)

決算額は△59億1,753万5,728円で、前年度に比べ5億2,304万4,099円未処理欠損金が減少している。これは主に、純利益が生じたことによる。

## イ 経営分析

項目		令和4年度	令和3年度	(参考) 令和3年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 16.5	△ 23.9	25.7	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	87.3	89.1	88.3	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{自己資本})} \times 100$
	流動比率 (%)	184.8	174.2	168.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.33	0.32	0.69	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$
	未収金回転率 (回)	2.61	4.29	4.54	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$
収益	総資本経常利益率 (%)	5.05	9.68	3.48	$\frac{\text{経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$
	経常収支比率 (%)	110.0	118.6	103.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	7,755	7,675	13,190	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$

(注) 1 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益

2 総資本＝負債・資本合計

3 損益勘定所属職員数＝医業活動に従事する職員数

4 令和3年度全国平均は、「令和3年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県立病院の平均値

### (ア) 自己資本構成比率

総資本（負債・資本合計）に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。これは主に、全国の都道府県立病院と比べ、資本金が少ないことによる。

### (イ) 固定資産対長期資本比率

長期資金に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均より低い。

### (ロ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均より高い。

### (ハ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。これは主に、指定管理者の入院・外来収益が、医業収益に含まれないことによる。

### (ニ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より低い。これは、一般会計繰入金の一部が年度内に収納されず未収金となったことによる。

(カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(ク) 職員1人あたり医業収益

職員1人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。これは主に、医業収益を多く見込めない精神科が、医業収益の約7割を占めていることによる。



## ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	278,483,317	944,141,067	△ 665,657,750
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 167,519,079	211,553,143	△ 379,072,222
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 338,117,613	△ 728,712,019	390,594,406
資金増減額(①+②+③)	△ 227,153,375	426,982,191	△ 654,135,566
資金期首残高	1,523,068,851	1,096,086,660	426,982,191
資金期末残高	1,295,915,476	1,523,068,851	△ 227,153,375

業務活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費5億5,797万3,501円などにより、プラス2億7,848万3,317円となったが、一般会計繰入金の減等により、前年度に比べ6億6,565万7,750円減少している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、病院増改築工事による支出3億3,978万6,448円などにより、マイナス1億6,751万9,079円となり、前年度に比べ3億7,907万2,222円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出7億2,001万7,613円などにより、マイナス3億3,811万7,613円となったが、企業債収入の増等により、前年度に比べ3億9,059万4,406円増加している。

この結果、令和4年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ2億2,715万3,375円減少し、12億9,591万5,476円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー(①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー(②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金の受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー(③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額)の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる(業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

## 第4 病院別の状況

### 1 こころの医療センター

#### (1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、各種作業療法及びデイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についての専門的な治療も行い、県の精神科医療の基幹病院としての役割を果たしている。

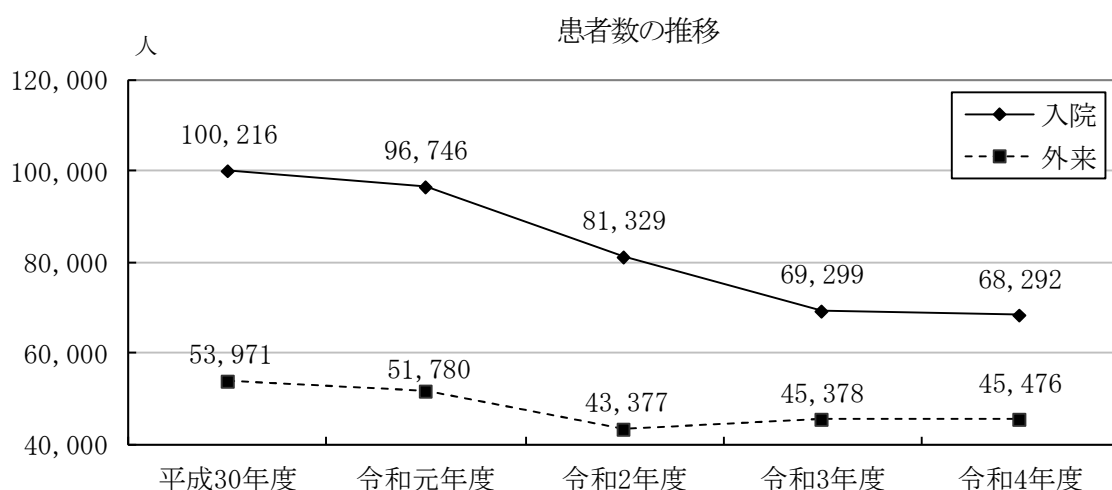
病院機能再編の取組の一環として、平成28年4月に許可病床数を400床から348床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

#### (2) 患者数の状況

令和4年度の延べ入院患者数は68,292人で、前年度に比べ1,007人減少している。病床利用率は53.8%で、前年度に比べ0.8ポイント減少している。

延べ外来患者数は45,476人で、前年度に比べ98人増加している。

項目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	68,292	69,299	△ 1,007
1日平均入院患者数 (人)	187	190	△ 3
延べ外来患者数 (人)	45,476	45,378	98
1日平均外来患者数 (人)	187	188	△ 1
病床利用率 (%)	53.8	54.6	△ 0.8



### (3) 経営成績

総収益は36億9,336万3,710円で、前年度に比べ3億8,224万3,736円減少している。これは主に、一般会計繰入金の減少に伴う減による。

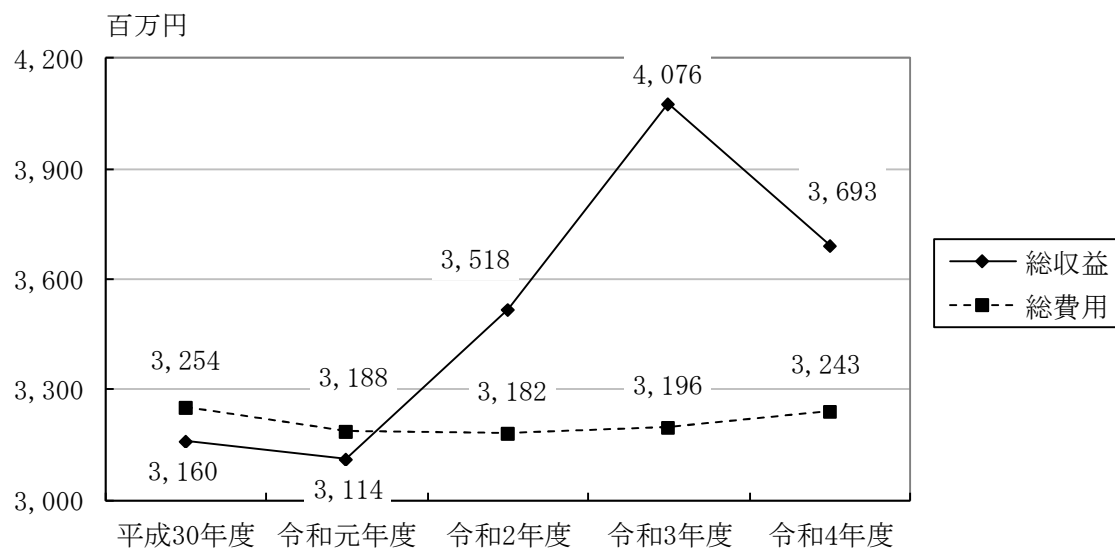
総費用は32億4,345万9,386円で、前年度に比べ4,705万266円増加している。これは主に、経費の増による。

この結果、純損益は4億4,990万4,324円の黒字となったが、前年度に比べ4億2,929万4,002円悪化している。

(単位：円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	3,693,363,710	4,075,607,446	△ 382,243,736	90.6%
医業収益	1,710,446,938	1,694,858,505	15,588,433	100.9%
医業外収益	1,982,916,772	2,380,748,941	△ 397,832,169	83.3%
総費用	3,243,459,386	3,196,409,120	47,050,266	101.5%
医業費用	3,119,693,707	3,071,058,197	48,635,510	101.6%
医業外費用	123,765,679	125,350,923	△ 1,585,244	98.7%
医業損益	△ 1,409,246,769	△ 1,376,199,692	△ 33,047,077	-
経常損益	449,904,324	879,198,326	△ 429,294,002	51.2%
純損益	449,904,324	879,198,326	△ 429,294,002	51.2%

総収益と総費用の推移



#### (4) 経営比較

全国の精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数、同外来患者数、経常収支比率及び他会計繰入金対経常収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(こころの医療センターは4年度、全国平均は3年度での比較)

項目	令和4年度	令和3年度	令和3年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	187	190	158	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	187	188	129	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	20,161	19,778	20,744	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,616	6,511	8,955	多いほど良い
経常収支比率 (%)	113.5	126.9	102.7	高いほど良い
医業収支比率 (%)	58.7	59.9	60.7	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	113.7	113.8	106.2	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	26.5	24.6	31.3	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 令和3年度全国平均は、「令和3年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和4年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和3年度 実績	令和4年度 目標	令和4年度 実績	
1 医療機能等の 充実に 向けた 主要な 取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
		精神科救急患者受入件数 (件)	178	230	117
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数 (人/日)	26.4	40.0	29.2
	②アルコール依存症治療	アルコール依存症入院患者数 (人/日)	19.4	30.0	15.8
	③精神科早期介入・早期予防	精神科早期介入対応件数 (件)	235	200	192
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	9,911	12,500	10,125
	②訪問看護サービス	訪問看護延べ患者数 (人)	4,231	5,000	4,317
	③入院患者の退院支援	入院後1年以内の患者退院率 (%)	100.0	95.0	90.7
	④関係機関等との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	8	9	9
	⑤精神疾患・障がいにかかる普及啓発	こころしつとこセミナー開催件数 (件)	35	35	40
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	1,835	2,200	1,968
	②職員の育成	人材育成研修回数 (回)	6	5	6
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率 (%)	99.7	94.0	100.0
②患者満足度の向上	患者満足度 (%)	87.4	94.3	86.9	
2 経営の 効率化等 に向けた 主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
		経常収支比率 (%)	127.5	101.6	113.9
		医業収支比率 (%)	55.2	62.8	54.8
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
		1日平均入院患者数 (人/日)	189.9	230.0	187.1
		1日平均外来患者数 (人/日)	187.5	200.0	187.1
(3) 医師・看護師の確保					
	医師充足率 (%)	79.8	100.0	78.4	
	看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	

## 2 一志病院

### (1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療、高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催など、予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

許可病床数は、令和3年度に療養病床を40床から4床削減して36床とし、一般病床46床と合わせて82床となっている。なお、療養病床全36床が休床中であり、稼働病床数は46床となっている。

### (2) 患者数の状況

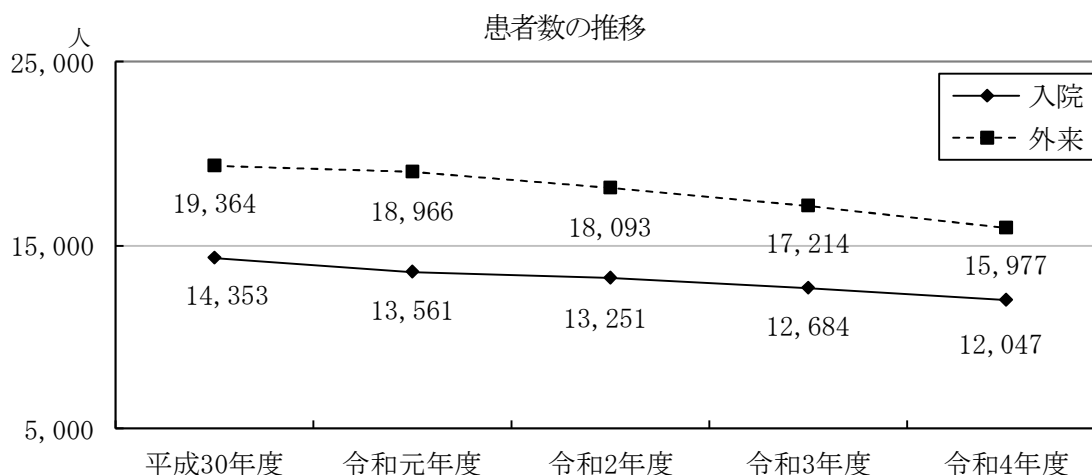
令和4年度の延べ入院患者数は12,047人で、前年度に比べ637人減少している。

休床を含む許可病床ベースの病床利用率は40.3%で、前年度に比べ0.6ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は71.8%で、前年度に比べ3.7ポイント減少している。

延べ外来患者数は15,977人で、前年度に比べ1,237人減少している。

項目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	12,047	12,684	△ 637
1日平均入院患者数 (人)	33	35	△ 2
延べ外来患者数 (人)	15,977	17,214	△ 1,237
1日平均外来患者数 (人)	66	71	△ 5
病床利用率(休床含む) (%)	40.3	40.9	△ 0.6
〃 (休床除く) (%)	71.8	75.5	△ 3.7
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	25.6	23.5	2.1

※令和3年度の病床利用率(休床含む)は、年度途中で許可病床数の変更があったため、日割り計算を行っている。



### (3) 経営成績

総収益は10億8,327万8,884円で、前年度に比べ2,374万9,377円増加している。これは主に、一般会計繰入金の増による。

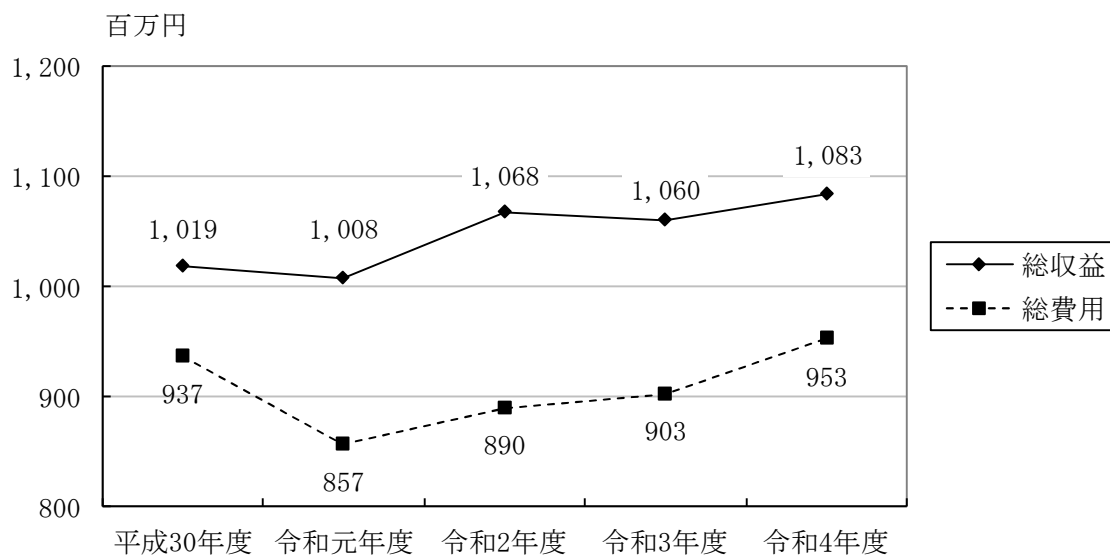
総費用は9億5,260万5,478円で、前年度に比べ4,948万7,649円増加している。これは主に、経費の増による。

この結果、純損益は1億3,067万3,406円の黒字となったが、前年度に比べ2,573万8,272円悪化している。

(単位：円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
総収益	1,083,278,884	1,059,529,507	23,749,377	102.2%
医業収益	654,803,199	648,916,295	5,886,904	100.9%
医業外収益	428,475,685	410,613,212	17,862,473	104.4%
総費用	952,605,478	903,117,829	49,487,649	105.5%
医業費用	925,443,896	876,645,150	48,798,746	105.6%
医業外費用	27,161,582	26,472,679	688,903	102.6%
医業損益	△ 270,640,697	△ 227,728,855	△ 42,911,842	-
経常損益	130,673,406	156,411,678	△ 25,738,272	83.5%
純損益	130,673,406	156,411,678	△ 25,738,272	83.5%

総収益と総費用の推移



#### (4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたり入院収益、同外来収益、経常収支比率、医業収支比率及び職員給与費対医業収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(一志病院は4年度、全国平均は3年度での比較)

項 目	令和4年度	令和3年度	令和3年度全国平均		備考
			50床以上 100床未満	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	33	35	45	22	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	66	71	128	81	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	30,831	27,219	25,776	24,154	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	10,750	10,715	8,892	7,683	多いほど良い
経常収支比率 (%)	113.4	117.0	103.4	102.1	高いほど良い
医業収支比率 (%)	77.9	81.0	74.3	63.5	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	75.9	74.3	76.8	87.1	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	32.7	33.3	23.0	32.8	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項（通常の決算との差異）により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院（こころの医療センター及び一志病院）に配賦

2 一志病院の許可病床数は82床、稼働病床数は46床

3 令和3年度全国平均は、「令和3年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」による（全事業の50床以上100床未満（及び50床未満）の病院平均）。

4 経常収支比率＝経常収益/経常費用

5 医業収支比率＝医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率＝職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率＝他会計繰入金/経常収益



(5) 中期経営計画における令和4年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和3年度 実績	令和4年度 目標	令和4年度 実績	
1 医療機能等の 充実に 向けた 主要な 取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	5,007	4,800	4,820
	②予防医療	住民健診、人間ドック、がん検診受 検者数(人)	1,068	1,400	984
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	740	900	655
	④医療過疎地域への支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	3	5	3
	⑤関係機関等との連携	多職種連携による取組件数(件)	10	15	13
	(2) 人材育成の充実				
	①総合診療医の育成	研修医・医学生受入延べ人数(人)	415	500	408
	②看護実習生等の受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	303	330	380
	③医療従事者の能力向上 への支援	学会、研修、カンファレンス等参加 率(%)	100.0	100.0	100.0
	(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	20	30	18
	(4) プライマリ・ケアセンターへの支援				
		プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	3	3	3
	(5) 業務改善の推進				
	①業務改善活動	夢プロジェクト開催回数(回)	12	12	12
	②危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
③患者満足度の向上	患者満足度(%)	95.0	96.6	96.8	
2 経営の 効率化 等 に向けた 主要な 取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
		経常収支比率(%)	117.3	106.3	113.7
		医業収支比率(%)	74.0	70.0	70.8
		診療報酬検討会開催回数(回)	12	12	12
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
		1日平均入院患者数(人/日)	34.8	36.0	33.0
		1日平均外来患者数(人/日)	71.1	72.0	65.7
(3) 医師・看護師の確保					
	医師充足率(%)	95.8	100.0	96.8	
	看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0	

### 3 志摩病院

#### (1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、地域医療支援病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

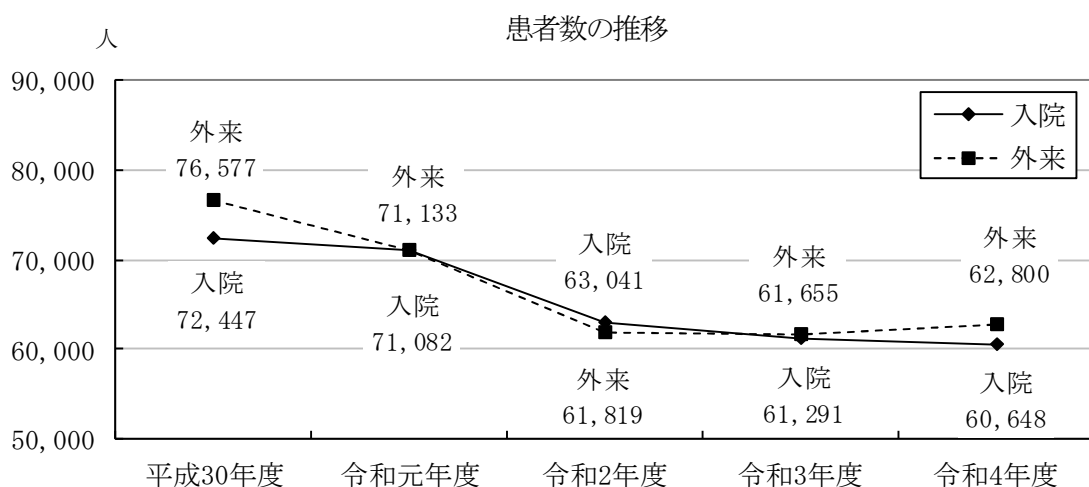
平成24年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、平成29年4月に一般病床を250床から14床削減して236床とし、精神病床100床と合わせて336床となっている。なお、一般病床52床が休床中であり、稼働病床数は284床となっている。

#### (2) 患者数の状況

令和4年度の延べ入院患者数は60,648人で、前年度に比べ643人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は49.5%で、前年度に比べ0.5ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は58.5%で、前年度に比べ0.6ポイント減少している。

延べ外来患者数は62,800人で、前年度に比べ1,145人増加している。

項目	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	60,648	61,291	△ 643
1日平均入院患者数 (人)	166	168	△ 2
延べ外来患者数 (人)	62,800	61,655	1,145
1日平均外来患者数 (人)	258	255	3
病床利用率(休床含む) (%)	49.5	50.0	△ 0.5
〃 (休床除く) (%)	58.5	59.1	△ 0.6
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	15.3	15.4	△ 0.1



### (3) 経営成績

総収益は9億315万7,956円で、前年度に比べ1,802万4,360円減少している。これは主に、一般会計繰入金の減による。

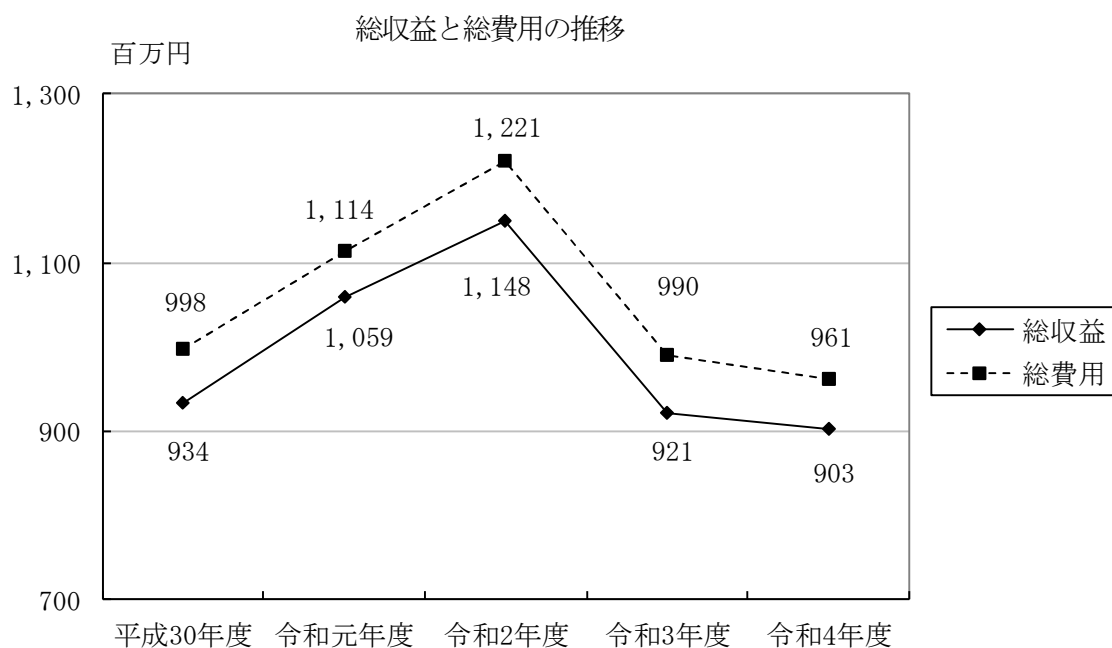
総費用は9億6,069万6,365円で、前年度に比べ2,927万6,005円減少している。これは主に、減価償却費の減による。

この結果、純損益は5,753万8,409円の赤字となったが、前年度に比べ1,125万1,645円改善している。

(単位：円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	903,157,956	921,182,316	△ 18,024,360	98.0%
医業収益	6,400,941	7,416,525	△ 1,015,584	86.3%
医業外収益	896,757,015	913,765,791	△ 17,008,776	98.1%
総費用	960,696,365	989,972,370	△ 29,276,005	97.0%
医業費用	898,610,810	927,111,169	△ 28,500,359	96.9%
医業外費用	62,085,555	62,861,201	△ 775,646	98.8%
医業損益	△ 892,209,869	△ 919,694,644	27,484,775	-
経常損益	△ 57,538,409	△ 68,790,054	11,251,645	-
純損益	△ 57,538,409	△ 68,790,054	11,251,645	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。



(4) 中期経営計画における令和4年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和3年度 実績	令和4年度 目標	令和4年度 実績
1 診療充 実等 の回 復 ・ 取 組	(1) 診療機能の回復・充実			
	1日平均入院患者数(人/日)	167.9	187.0	166.2
	1日平均外来患者数(人/日)	254.8	291.0	258.4
	1か月平均救急患者数(人/月)	277.8	401.5	300.9
	経常収支比率(%)	121.5	101.9	113.3
	患者満足度(%)	—	95.0	92.4

(注) 1 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

2 目標項目の「患者満足度」について、令和3年度は「利用者満足度」としていたため、令和3年度実績を「—」としている。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支（決算額）

（単位：百万円）

	令和4年度	令和3年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	3,153	3,092	61	
医業収益	3,058	2,997	61	
入院診療収益	2,221	2,185	35	入院診療単価の増
外来診療収益	837	812	25	外来診療単価の増
医業外収益	95	95	0	
II 事業外収益	2,016	2,347	△ 331	国交付金の減
<b>収益計 A</b>	<b>5,169</b>	<b>5,438</b>	<b>△ 269</b>	
III 事業費用	4,555	4,467	88	光熱水費の増
うち給与費	2,468	2,512	△ 44	
IV 事業外費用	6	7	△ 1	
<b>費用計 B</b>	<b>4,561</b>	<b>4,475</b>	<b>86</b>	
<b>経常損益 C (A-B)</b>	<b>608</b>	<b>964</b>	<b>△ 356</b>	
V 臨時収益 D	6	29	△ 23	
VI 臨時費用 E	0	0	0	
<b>当期利益 (C+D-E)</b>	<b>614</b>	<b>993</b>	<b>△ 379</b>	

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移

（単位：千円）

	指定管理 (第一期)							指定管理 (第二期)				
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	
政策的医療交付金 (指定管理料)	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296	581,124	594,143	590,447	
経営基盤強化交付金 (赤字補てん)	541,343	458,628	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	
うち当年度分 (当初交付額)	541,343	434,851	382,408	184,137	94,859	0	0	0	0	0	0	
うち前年度分 (追加交付額)	-	23,777	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	
<b>合計</b>	<b>991,590</b>	<b>924,509</b>	<b>876,733</b>	<b>702,302</b>	<b>737,636</b>	<b>650,964</b>	<b>593,917</b>	<b>715,785</b>	<b>816,921</b>	<b>594,143</b>	<b>590,447</b>	

(注) 1 県と指定管理者の第一期基本協定（平成24年度～令和3年度）における経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲（注：県）及び乙（注：指定管理者）が協議するもの」としている。

2 経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。

- 3 県と指定管理者の第二期基本協定（令和4年度～令和13年度）では、経営基盤強化交付金に代わり、新たに地域医療確保交付金を創設している。地域医療確保交付金は、第二期基本協定において「地域の診療機能を維持するため、乙が効率的な管理運営を行ってもなお不採算となる診療科が生じた場合は、その診療科の経常損失相当額について、甲の予算の範囲内で交付金を乙に交付する」としている。
- 4 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 3 志摩病院における救急患者の受入体制

#### 内科系（令和元年7月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○	○	○※
深夜（22:30～8:30）	○	○	○	○	○	○	○※

※体制によっては、受入れを一部制限（心肺停止患者及び在宅病診連携登録者に限定して対応）

#### 外科系（令和5年4月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○		
深夜（22:30～8:30）							

#### 小児科系（令和2年12月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼間（8:30～17:00）	○	○	○		○		
準夜間（17:00～22:30）							
深夜（22:30～8:30）							

※1歳以上のてんかん発作や熱性けいれん、アナフィラキシーショック等に対応

(注) 基本協定では、「内科系の救急体制については、24時間365日受入体制を維持する」「外科系の救急体制については、24時間365日の受入体制の実現に努める」としている。

#### 4 志摩病院における常勤医師数の推移

診療科等	H24. 3	指定管理 (第一期)										指定管理 (第二期)	
		H24. 4	H25. 4	H26. 4	H27. 4	H28. 4	H29. 4	H30. 4	H31. 4	R2. 4	R3. 4	R4. 4	R5. 4
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11	10	10
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
漢方内科・漢方皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24	24	25
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6	6	7
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30	30	32

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 基本協定では、医療従事者の確保について、「診療に支障が生じないよう常勤の医師、看護師等の医療従事者を、年間を通じて安定的かつ適切に配置することに努める」、「常勤医師の確保、増員を図るため、地域医療振興協会内他施設等から派遣を受けるとともに、三重大学医局等に対して医師派遣の要請、現地での医師募集、自治医大卒業医師の確保等に努める」としている。

#### 5 志摩病院における経営成績

項目	令和4年度	令和3年度	令和3年度全国平均		備考
			300床以上 400床未満	200床以上 300床未満	
1日平均入院患者数 (人)	166	168	220	158	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	258	255	578	393	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	36,613	35,741	53,348	44,063	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	13,552	13,105	14,963	11,797	多いほど良い
経常収支比率 (%)	114.3	122.3	106.9	104.2	高いほど良い
医業収支比率 (%)	72.2	71.2	85.8	81.4	高いほど良い
職員給与対医業収益比率 (%)	73.4	76.8	60.7	64.0	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	11.5	11.0	9.7	12.6	低いほど良い

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 1 この表における「経常収支比率」、「医業収支比率」、「職員給与対医業収益比率」、「他会計繰入金対経常収益比率」については、指定管理者における会計と、病院事業庁における会計を合算して算出している。また、算出において、政策的医療交付金等、一部の内容は2重計上とならないよう調整している。

2 令和3年度全国平均は、「令和3年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の300床以上400床未満(及び200床以上300床未満)の病院平均)。

## 6 県立病院課の中期経営計画における令和4年度の目標及び実績値

区分	目標項目	令和3年度 実績	令和4年度 目標	令和4年度 実績
1 各 県 立 病 院 に 対 す る 支 援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値	124.7	102.6	113.5
	医業収支比率 (%) ※同上	58.0	62.9	57.1
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センターと一志病院を合計した値	83.9	100.0	83.2
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※同上	90.6	95.0	90.9



## 第5 決算諸表

### 1 損益計算書

#### 比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,371,651,078	2,351,191,325	20,459,753	100.9%
入院収益	1,748,266,551	1,715,851,710	32,414,841	101.9%
外来収益	472,632,977	479,910,237	△ 7,277,260	98.5%
その他医業収益	150,751,550	155,429,378	△ 4,677,828	97.0%
医業費用	5,040,826,858	4,970,760,178	70,066,680	101.4%
給与費	2,711,251,135	2,702,117,387	9,133,748	100.3%
材料費	242,400,649	254,833,763	△ 12,433,114	95.1%
経 費	1,506,641,952	1,416,214,886	90,427,066	106.4%
減価償却費	557,973,501	580,896,027	△ 22,922,526	96.1%
資産減耗費	14,634,208	10,344,795	4,289,413	141.5%
研究研修費	7,925,413	6,353,320	1,572,093	124.7%
<b>医業損益</b>	<b>△ 2,669,175,780</b>	<b>△ 2,619,568,853</b>	<b>△ 49,606,927</b>	<b>-</b>
医業外収益	3,405,802,043	3,801,635,790	△ 395,833,747	89.6%
受取利息配当金	38,999	42,227	△ 3,228	92.4%
他会計補助金	136,104,000	133,101,000	3,003,000	102.3%
長期前受金戻入	246,168,583	253,676,250	△ 7,507,667	97.0%
補助金	5,059,000	60,953,000	△ 55,894,000	8.3%
負担金	2,798,132,860	3,136,748,000	△ 338,615,140	89.2%
その他医業外収益	220,298,601	217,115,313	3,183,288	101.5%
医業外費用	213,586,942	215,246,987	△ 1,660,045	99.2%
支払利息及び企業債取扱諸費	79,258,005	86,900,862	△ 7,642,857	91.2%
患者外給食材料費	212,581	369,975	△ 157,394	57.5%
長期前払消費税償却	26,125,184	25,406,653	718,531	102.8%
雑損失	107,991,172	102,569,497	5,421,675	105.3%
<b>経常損益</b>	<b>523,039,321</b>	<b>966,819,950</b>	<b>△ 443,780,629</b>	<b>54.1%</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>523,039,321</b>	<b>966,819,950</b>	<b>△ 443,780,629</b>	<b>54.1%</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 7,812,133,799	△ 8,778,953,749	966,819,950	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 7,289,094,478	△ 7,812,133,799	523,039,321	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	1,710,446,938	1,694,858,505	15,588,433	100.9%
入院収益	1,376,841,743	1,370,609,355	6,232,388	100.5%
外来収益	300,883,235	295,469,137	5,414,098	101.8%
その他医業収益	32,721,960	28,780,013	3,941,947	113.7%
医業費用	3,119,693,707	3,071,058,197	48,635,510	101.6%
給与費	2,076,419,874	2,087,703,781	△ 11,283,907	99.5%
材料費	177,439,859	187,547,840	△ 10,107,981	94.6%
経 費	651,964,870	587,223,834	64,741,036	111.0%
減価償却費	201,835,808	200,802,353	1,033,455	100.5%
資産減耗費	5,080,956	2,278,287	2,802,669	223.0%
研究研修費	6,952,340	5,502,102	1,450,238	126.4%
<b>医業損益</b>	<b>△ 1,409,246,769</b>	<b>△ 1,376,199,692</b>	<b>△ 33,047,077</b>	<b>-</b>
医業外収益	1,982,916,772	2,380,748,941	△ 397,832,169	83.3%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	89,393,000	87,147,000	2,246,000	102.6%
長期前受金戻入	100,698,152	97,895,723	2,802,429	102.9%
補助金	0	50,650,000	△ 50,650,000	皆減
負担金	1,757,509,000	2,106,903,000	△ 349,394,000	83.4%
その他医業外収益	35,316,620	38,153,218	△ 2,836,598	92.6%
医業外費用	123,765,679	125,350,923	△ 1,585,244	98.7%
支払利息及び企業債取扱諸費	37,615,610	42,650,618	△ 5,035,008	88.2%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	5,011,271	4,708,027	303,244	106.4%
雑損失	81,138,798	77,992,278	3,146,520	104.0%
<b>経常損益</b>	<b>449,904,324</b>	<b>879,198,326</b>	<b>△ 429,294,002</b>	<b>51.2%</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>449,904,324</b>	<b>879,198,326</b>	<b>△ 429,294,002</b>	<b>51.2%</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 1,981,115,827	△ 2,860,314,153	879,198,326	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 1,531,211,503	△ 1,981,115,827	449,904,324	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	654,803,199	648,916,295	5,886,904	100.9%
入院収益	371,424,808	345,242,355	26,182,453	107.6%
外来収益	171,749,742	184,441,100	△ 12,691,358	93.1%
その他医業収益	111,628,649	119,232,840	△ 7,604,191	93.6%
医業費用	925,443,896	876,645,150	48,798,746	105.6%
給与費	543,223,286	523,881,980	19,341,306	103.7%
材料費	64,960,790	67,285,923	△ 2,325,133	96.5%
経 費	249,212,803	218,903,285	30,309,518	113.8%
減価償却費	63,587,662	64,993,253	△ 1,405,591	97.8%
資産減耗費	3,673,146	949,591	2,723,555	386.8%
研究研修費	786,209	631,118	155,091	124.6%
<b>医業損益</b>	<b>△ 270,640,697</b>	<b>△ 227,728,855</b>	<b>△ 42,911,842</b>	<b>-</b>
医業外収益	428,475,685	410,613,212	17,862,473	104.4%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	22,035,000	20,623,000	1,412,000	106.8%
長期前受金戻入	21,081,481	20,319,613	761,868	103.7%
補助金	0	4,650,000	△ 4,650,000	皆減
負担金	357,747,860	343,876,000	13,871,860	104.0%
その他医業外収益	27,611,344	21,144,599	6,466,745	130.6%
医業外費用	27,161,582	26,472,679	688,903	102.6%
支払利息及び企業債取扱諸費	621,781	698,755	△ 76,974	89.0%
患者外給食材料費	212,581	369,975	△ 157,394	57.5%
長期前払消費税償却	3,171,430	3,211,176	△ 39,746	98.8%
雑損失	23,155,790	22,192,773	963,017	104.3%
<b>経常損益</b>	<b>130,673,406</b>	<b>156,411,678</b>	<b>△ 25,738,272</b>	<b>83.5%</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>130,673,406</b>	<b>156,411,678</b>	<b>△ 25,738,272</b>	<b>83.5%</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 152,235,967	△ 308,647,645	156,411,678	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 21,562,561	△ 152,235,967	130,673,406	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	6,400,941	7,416,525	△ 1,015,584	86.3%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	6,400,941	7,416,525	△ 1,015,584	86.3%
医業費用	898,610,810	927,111,169	△ 28,500,359	96.9%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	601,966,496	606,748,169	△ 4,781,673	99.2%
減価償却費	290,764,208	313,246,083	△ 22,481,875	92.8%
資産減耗費	5,880,106	7,116,917	△ 1,236,811	82.6%
研究研修費	0	0	0	-
<b>医業損益</b>	<b>△ 892,209,869</b>	<b>△ 919,694,644</b>	<b>27,484,775</b>	<b>-</b>
医業外収益	896,757,015	913,765,791	△ 17,008,776	98.1%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入 補助金	123,419,116 5,059,000	134,491,080 5,653,000	△ 11,071,964 △ 594,000	91.8% 89.5%
負担金	610,989,000	615,921,000	△ 4,932,000	99.2%
その他医業外収益	157,289,899	157,700,711	△ 410,812	99.7%
医業外費用	62,085,555	62,861,201	△ 775,646	98.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	41,018,964	43,545,533	△ 2,526,569	94.2%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	17,791,213	17,336,161	455,052	102.6%
雑損失	3,275,378	1,979,507	1,295,871	165.5%
<b>経常損益</b>	<b>△ 57,538,409</b>	<b>△ 68,790,054</b>	<b>11,251,645</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 57,538,409</b>	<b>△ 68,790,054</b>	<b>11,251,645</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 5,678,782,005	△ 5,609,991,951	△ 68,790,054	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 5,736,320,414	△ 5,678,782,005	△ 57,538,409	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	97,078,445	95,945,662	1,132,783	101.2%
給与費	91,607,975	90,531,626	1,076,349	101.2%
材料費	0	0	0	-
経 費	3,497,783	3,339,598	158,185	104.7%
減価償却費	1,785,823	1,854,338	△ 68,515	96.3%
資産減耗費	0	0	0	-
研究研修費	186,864	220,100	△ 33,236	84.9%
<b>医業損益</b>	<b>△ 97,078,445</b>	<b>△ 95,945,662</b>	<b>△ 1,132,783</b>	<b>-</b>
医業外収益	97,652,571	96,507,846	1,144,725	101.2%
受取利息配当金	38,999	42,227	△ 3,228	92.4%
他会計補助金	24,676,000	25,331,000	△ 655,000	97.4%
長期前受金戻入	969,834	969,834	0	100.0%
補助金	0	0	0	-
負担金	71,887,000	70,048,000	1,839,000	102.6%
その他医業外収益	80,738	116,785	△ 36,047	69.1%
医業外費用	574,126	562,184	11,942	102.1%
支払利息及び企業債取扱諸費	1,650	5,956	△ 4,306	27.7%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	151,270	151,289	△ 19	100.0%
雑損失	421,206	404,939	16,267	104.0%
<b>経常損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 2 貸借対照表

### 比較貸借対照表（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	7,992,067,518	75.9%	7,909,085,699	77.6%	82,981,819	101.0%
有形固定資産	7,684,906,438	73.0%	7,634,443,455	74.9%	50,462,983	100.7%
土地	490,670,051	4.7%	490,665,273	4.8%	4,778	100.0%
建物	6,014,501,348	57.1%	6,066,913,144	59.5%	△ 52,411,796	99.1%
構築物	261,360,053	2.5%	285,496,054	2.8%	△ 24,136,001	91.5%
器械備品	886,982,451	8.4%	778,145,590	7.6%	108,836,861	114.0%
車両	4,006,217	0.0%	6,170,101	0.1%	△ 2,163,884	64.9%
建設仮勘定	27,386,318	0.3%	7,053,293	0.1%	20,333,025	388.3%
無形固定資産	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	304,862,191	2.9%	272,343,355	2.7%	32,518,836	111.9%
長期貸付金	3,000,000	0.0%	2,400,000	0.0%	600,000	125.0%
長期前払消費税	301,692,191	2.9%	269,773,355	2.6%	31,918,836	111.8%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	2,533,685,826	24.1%	2,283,650,727	22.4%	250,035,099	110.9%
現金預金	1,295,915,476	12.3%	1,523,068,851	14.9%	△ 227,153,375	85.1%
未収金	1,221,552,807	11.6%	748,559,280	7.3%	472,993,527	163.2%
貯蔵品	11,114,001	0.1%	7,957,206	0.1%	3,156,795	139.7%
前払費用	0	0.0%	200,000	0.0%	△ 200,000	皆減
前払金	1,029,642	0.0%	865,390	0.0%	164,252	119.0%
その他流動資産	4,073,900	0.0%	3,000,000	0.0%	1,073,900	135.8%
<b>資産合計</b>	<b>10,525,753,344</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,192,736,426</b>	<b>100.0%</b>	<b>333,016,918</b>	<b>103.3%</b>
固定負債	10,896,534,407	103.5%	11,314,587,118	111.0%	△ 418,052,711	96.3%
企業債	5,161,561,789	49.0%	5,206,211,896	51.1%	△ 44,650,107	99.1%
他会計借入金	4,670,592,278	44.4%	4,955,592,278	48.6%	△ 285,000,000	94.2%
引当金	1,064,380,340	10.1%	1,152,782,944	11.3%	△ 88,402,604	92.3%
流動負債	1,370,924,166	13.0%	1,311,161,222	12.9%	59,762,944	104.6%
企業債	707,550,107	6.7%	720,017,613	7.1%	△ 12,467,506	98.3%
引当金	182,919,000	1.7%	186,941,000	1.8%	△ 4,022,000	97.8%
未払金	469,990,665	4.5%	392,968,557	3.9%	77,022,108	119.6%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	2,867,500	0.0%	△ 2,867,500	皆減
その他流動負債	10,464,394	0.1%	8,366,552	0.1%	2,097,842	125.1%
繰延収益	3,864,420,721	36.7%	3,696,158,135	36.3%	168,262,586	104.6%
長期前受金	3,864,420,721	36.7%	3,696,158,135	36.3%	168,262,586	104.6%
<b>負債合計</b>	<b>16,131,879,294</b>	<b>153.3%</b>	<b>16,321,906,475</b>	<b>160.1%</b>	<b>△ 190,027,181</b>	<b>98.8%</b>
資本金	311,409,778	3.0%	311,409,778	3.1%	0	100.0%
剰余金	△ 5,917,535,728	△56.2%	△ 6,440,579,827	△63.2%	523,044,099	-
資本剰余金	1,371,558,750	13.0%	1,371,553,972	13.5%	4,778	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 7,289,094,478	△69.3%	△ 7,812,133,799	△76.6%	523,039,321	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 5,606,125,950</b>	<b>△53.3%</b>	<b>△ 6,129,170,049</b>	<b>△60.1%</b>	<b>523,044,099</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>10,525,753,344</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,192,736,426</b>	<b>100.0%</b>	<b>333,016,918</b>	<b>103.3%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率		
固定資産	3,521,847,038	64.7%	3,637,670,834	68.1%	△ 115,823,796	96.8%
有形固定資産	3,453,111,239	63.5%	3,572,096,758	66.9%	△ 118,985,519	96.7%
土地	298,019,860	5.5%	298,015,082	5.6%	4,778	100.0%
建物	2,869,625,004	52.8%	2,986,049,749	55.9%	△ 116,424,745	96.1%
構築物	70,815,557	1.3%	77,359,516	1.4%	△ 6,543,959	91.5%
器械備品	207,820,782	3.8%	205,734,956	3.9%	2,085,826	101.0%
車両	3,139,235	0.1%	4,937,455	0.1%	△ 1,798,220	63.6%
建設仮勘定	3,690,801	0.1%	0	0.0%	3,690,801	皆増
無形固定資産	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	68,292,099	1.3%	65,130,376	1.2%	3,161,723	104.9%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	68,122,099	1.3%	64,960,376	1.2%	3,161,723	104.9%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,917,577,707	35.3%	1,702,594,337	31.9%	214,983,370	112.6%
現金預金	891,534,625	16.4%	1,101,708,043	20.6%	△ 210,173,418	80.9%
未収金	1,017,069,489	18.7%	594,679,814	11.1%	422,389,675	171.0%
貯蔵品	7,718,261	0.1%	5,179,128	0.1%	2,539,133	149.0%
前払費用	0	0.0%	200,000	0.0%	△ 200,000	皆減
前払金	956,854	0.0%	827,352	0.0%	129,502	115.7%
その他流動資産	298,478	0.0%	0	0.0%	298,478	皆増
<b>資産合計</b>	<b>5,439,424,745</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,340,265,171</b>	<b>100.0%</b>	<b>99,159,574</b>	<b>101.9%</b>
固定負債	3,831,142,275	70.4%	4,441,073,578	83.2%	△ 609,931,303	86.3%
企業債	2,182,021,702	40.1%	2,489,526,803	46.6%	△ 307,505,101	87.6%
他会計借入金	761,913,818	14.0%	1,004,163,818	18.8%	△ 242,250,000	75.9%
引当金	887,206,755	16.3%	947,382,957	17.7%	△ 60,176,202	93.6%
流動負債	868,984,924	16.0%	760,566,274	14.2%	108,418,650	114.3%
企業債	400,505,101	7.4%	405,958,273	7.6%	△ 5,453,172	98.7%
引当金	140,261,000	2.6%	142,881,000	2.7%	△ 2,620,000	98.2%
未払金	324,592,419	6.0%	208,987,118	3.9%	115,605,301	155.3%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	866,740	0.0%	△ 866,740	皆減
その他流動負債	3,626,404	0.1%	1,873,143	0.0%	1,753,261	193.6%
繰延収益	2,080,330,741	38.2%	1,929,567,616	36.1%	150,763,125	107.8%
長期前受金	2,080,330,741	38.2%	1,929,567,616	36.1%	150,763,125	107.8%
<b>負債合計</b>	<b>6,780,457,940</b>	<b>124.7%</b>	<b>7,131,207,468</b>	<b>133.5%</b>	<b>△ 350,749,528</b>	<b>95.1%</b>
資本金	188,628,538	3.5%	188,628,538	3.5%	0	100.0%
剰余金	△ 1,529,661,733	△28.1%	△ 1,979,570,835	△37.1%	449,909,102	-
資本剰余金	1,549,770	0.0%	1,544,992	0.0%	4,778	100.3%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 1,531,211,503	△28.2%	△ 1,981,115,827	△37.1%	449,904,324	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 1,341,033,195</b>	<b>△24.7%</b>	<b>△ 1,790,942,297</b>	<b>△33.5%</b>	<b>449,909,102</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,439,424,745</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,340,265,171</b>	<b>100.0%</b>	<b>99,159,574</b>	<b>101.9%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	837,799,762	47.5%	715,121,014	45.5%	122,678,748	117.2%
有形固定資産	787,409,799	44.7%	678,022,007	43.1%	109,387,792	116.1%
土地	39,881,445	2.3%	39,881,445	2.5%	0	100.0%
建物	500,879,877	28.4%	512,490,378	32.6%	△ 11,610,501	97.7%
構築物	32,774,428	1.9%	35,389,582	2.3%	△ 2,615,154	92.6%
器械備品	213,174,790	12.1%	89,195,679	5.7%	123,979,111	239.0%
車両	699,259	0.0%	1,064,923	0.1%	△ 365,664	65.7%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	49,969,763	2.8%	36,678,807	2.3%	13,290,956	136.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	49,969,763	2.8%	36,678,807	2.3%	13,290,956	136.2%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	925,198,895	52.5%	856,211,465	54.5%	68,987,430	108.1%
現金預金	717,256,624	40.7%	700,511,830	44.6%	16,744,794	102.4%
未収金	203,698,321	11.6%	152,883,519	9.7%	50,814,802	133.2%
貯蔵品	3,395,740	0.2%	2,778,078	0.2%	617,662	122.2%
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	72,788	0.0%	38,038	0.0%	34,750	191.4%
その他流動資産	775,422	0.0%	0	0.0%	775,422	皆増
資産合計	1,762,998,657	100.0%	1,571,332,479	100.0%	191,666,178	112.2%
固定負債	1,318,525,386	74.8%	1,256,432,739	80.0%	62,092,647	104.9%
企業債	365,347,155	20.7%	231,223,388	14.7%	134,123,767	158.0%
他会計借入金	787,286,242	44.7%	830,036,242	52.8%	△ 42,750,000	94.8%
引当金	165,891,989	9.4%	195,173,109	12.4%	△ 29,281,120	85.0%
流動負債	188,387,029	10.7%	196,920,213	12.5%	△ 8,533,184	95.7%
企業債	43,476,233	2.5%	47,601,137	3.0%	△ 4,124,904	91.3%
引当金	31,415,000	1.8%	32,817,000	2.1%	△ 1,402,000	95.7%
未払金	110,374,448	6.3%	111,115,070	7.1%	△ 740,622	99.3%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	1,899,913	0.1%	△ 1,899,913	皆減
その他流動負債	3,121,348	0.2%	3,487,093	0.2%	△ 365,745	89.5%
繰延収益	230,272,382	13.1%	222,839,073	14.2%	7,433,309	103.3%
長期前受金	230,272,382	13.1%	222,839,073	14.2%	7,433,309	103.3%
負債合計	1,737,184,797	98.5%	1,676,192,025	106.7%	60,992,772	103.6%
資本金	36,867,441	2.1%	36,867,441	2.3%	0	100.0%
剰余金	△ 11,053,581	△ 0.6%	△ 141,726,987	△ 9.0%	130,673,406	-
資本剰余金	10,508,980	0.6%	10,508,980	0.7%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 21,562,561	△ 1.2%	△ 152,235,967	△ 9.7%	130,673,406	-
資本合計	25,813,860	1.5%	△ 104,859,546	△ 6.7%	130,673,406	-
負債・資本合計	1,762,998,657	100.0%	1,571,332,479	100.0%	191,666,178	112.2%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。



## 比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,624,611,317	110.2%	3,547,365,995	109.2%	77,245,322	102.2%
有形固定資産	3,440,873,835	104.6%	3,379,227,302	104.1%	61,646,533	101.8%
土地	152,768,746	4.6%	152,768,746	4.7%	0	100.0%
建物	2,643,996,467	80.4%	2,568,373,017	79.1%	75,623,450	102.9%
構築物	157,770,068	4.8%	172,746,956	5.3%	△ 14,976,888	91.3%
器械備品	462,475,314	14.1%	478,117,567	14.7%	△ 15,642,253	96.7%
車両	167,723	0.0%	167,723	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	23,695,517	0.7%	7,053,293	0.2%	16,642,224	335.9%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	182,302,493	5.5%	166,703,704	5.1%	15,598,789	109.4%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	182,302,493	5.5%	166,703,704	5.1%	15,598,789	109.4%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	△ 335,441,976	△10.2%	△ 299,967,710	△9.2%	△ 35,474,266	111.8%
現金預金	△ 336,226,973	△10.2%	△ 300,963,657	△9.3%	△ 35,263,316	111.7%
未収金	784,997	0.0%	995,947	0.0%	△ 210,950	78.8%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>3,289,169,341</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,247,398,285</b>	<b>100.0%</b>	<b>41,771,056</b>	<b>101.3%</b>
固定負債	5,734,564,933	174.3%	5,605,108,706	172.6%	129,456,227	102.3%
企業債	2,613,992,932	79.5%	2,484,536,705	76.5%	129,456,227	105.2%
他会計借入金	3,120,572,001	94.9%	3,120,572,001	96.1%	0	100.0%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	294,095,589	8.9%	334,815,837	10.3%	△ 40,720,248	87.8%
企業債	262,643,773	8.0%	265,533,203	8.2%	△ 2,889,430	98.9%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	31,451,816	1.0%	69,177,594	2.1%	△ 37,725,778	45.5%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	105,040	0.0%	△ 105,040	皆減
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	1,551,415,434	47.2%	1,540,841,948	47.4%	10,573,486	100.7%
長期前受金	1,551,415,434	47.2%	1,540,841,948	47.4%	10,573,486	100.7%
<b>負債合計</b>	<b>7,580,075,956</b>	<b>230.5%</b>	<b>7,480,766,491</b>	<b>230.4%</b>	<b>99,309,465</b>	<b>101.3%</b>
資本金	85,913,799	2.6%	85,913,799	2.6%	0	100.0%
剰余金	△ 4,376,820,414	△133.1%	△ 4,319,282,005	△133.0%	△ 57,538,409	-
資本剰余金	1,359,500,000	41.3%	1,359,500,000	41.9%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 5,736,320,414	△174.4%	△ 5,678,782,005	△174.9%	△ 57,538,409	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 4,290,906,615</b>	<b>△130.5%</b>	<b>△ 4,233,368,206</b>	<b>△130.4%</b>	<b>△ 57,538,409</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,289,169,341</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,247,398,285</b>	<b>100.0%</b>	<b>41,771,056</b>	<b>101.3%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和4年度		令和3年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	7,809,401	22.9%	8,927,856	26.5%	△ 1,118,455	87.5%
有形固定資産	3,511,565	10.3%	5,097,388	15.1%	△ 1,585,823	68.9%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	3,511,565	10.3%	5,097,388	15.1%	△ 1,585,823	68.9%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	4,297,836	12.6%	3,830,468	11.4%	467,368	112.2%
長期貸付金	3,000,000	8.8%	2,400,000	7.1%	600,000	125.0%
長期前払消費税	1,297,836	3.8%	1,430,468	4.2%	△ 132,632	90.7%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	26,351,200	77.1%	24,812,635	73.5%	1,538,565	106.2%
現金預金	23,351,200	68.4%	21,812,635	64.6%	1,538,565	107.1%
未収金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	3,000,000	8.8%	3,000,000	8.9%	0	100.0%
<b>資産合計</b>	<b>34,160,601</b>	<b>100.0%</b>	<b>33,740,491</b>	<b>100.0%</b>	<b>420,110</b>	<b>101.2%</b>
固定負債	12,301,813	36.0%	11,972,095	35.5%	329,718	102.8%
企業債	200,000	0.6%	925,000	2.7%	△ 725,000	21.6%
他会計借入金	820,217	2.4%	820,217	2.4%	0	100.0%
引当金	11,281,596	33.0%	10,226,878	30.3%	1,054,718	110.3%
流動負債	19,456,624	57.0%	18,858,898	55.9%	597,726	103.2%
企業債	925,000	2.7%	925,000	2.7%	0	100.0%
引当金	11,243,000	32.9%	11,243,000	33.3%	0	100.0%
未払金	3,571,982	10.5%	3,688,775	10.9%	△ 116,793	96.8%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	△ 4,193	0.0%	4,193	-
その他流動負債	3,716,642	10.9%	3,006,316	8.9%	710,326	123.6%
繰延収益	2,402,164	7.0%	2,909,498	8.6%	△ 507,334	82.6%
長期前受金	2,402,164	7.0%	2,909,498	8.6%	△ 507,334	82.6%
<b>負債合計</b>	<b>34,160,601</b>	<b>100.0%</b>	<b>33,740,491</b>	<b>100.0%</b>	<b>420,110</b>	<b>101.2%</b>
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 （△は欠損金）	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資本合計</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>34,160,601</b>	<b>100.0%</b>	<b>33,740,491</b>	<b>100.0%</b>	<b>420,110</b>	<b>101.2%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区分	実績				趨勢比率						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
こころ医療センター	延べ入院患者数 (人)	100,216	96,746	81,329	69,299	68,292	100.0	96.5	81.2	69.1	68.1
	延べ外来患者数 (人)	53,971	51,780	43,377	45,378	45,476	100.0	95.9	80.4	84.1	84.3
	計	154,187	148,526	124,706	114,677	113,768	100.0	96.3	80.9	74.4	73.8
一志病院	入院外来収益 (千円)	2,080,439	2,050,436	1,773,772	1,666,078	1,677,725	100.0	98.6	85.3	80.1	80.6
	延べ入院患者数 (人)	14,353	13,561	13,251	12,684	12,047	100.0	94.5	92.3	88.4	83.9
	延べ外来患者数 (人)	19,364	18,966	18,093	17,214	15,977	100.0	97.9	93.4	88.9	82.5
志摩病院	計	33,717	32,527	31,344	29,898	28,024	100.0	96.5	93.0	88.7	83.1
	入院外来収益 (千円)	560,308	539,590	545,461	529,683	543,175	100.0	96.3	97.4	94.5	96.9
	延べ入院患者数 (人)	72,447	71,082	63,041	61,291	60,648	100.0	98.1	87.0	84.6	83.7
計	延べ外来患者数 (人)	76,577	71,133	61,819	61,655	62,800	100.0	92.9	80.7	80.5	82.0
	計	149,024	142,215	124,860	122,946	123,448	100.0	95.4	83.8	82.5	82.8
	入院外来収益 (千円)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	延べ入院患者数 (人)	187,016	181,389	157,621	143,274	140,987	100.0	97.0	84.3	76.6	75.4
	延べ外来患者数 (人)	149,912	141,879	123,289	124,247	124,253	100.0	94.6	82.2	82.9	82.9
	計	336,928	323,268	280,910	267,521	265,240	100.0	95.9	83.4	79.4	78.7

(注) 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区分	分	こころの医療センター				一志病院				志摩病院				備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国同規模病院(R3)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国同規模病院(R3)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国同規模病院(R3)	
病床数・利用率	計	348	348	348	-	86	82	82	-	336	336	336	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	うち一般	64.0	54.6	53.8	60.2	42.2	40.9	40.3	62.1	51.4	50.0	49.5	66.3	
うち精神	計	-	-	-	-	46	46	46	-	236	236	236	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数
	うち精神	348	348	348	-	78.9	75.5	71.8	60.9	42.5	43.1	41.4	67.5	
患者数	1日平均患者数(人)	223	190	187	158	36	35	33	45	173	168	166	220	年延入院患者数 入院診療日数
	外来	179	188	187	129	74	71	66	128	254	255	258	578	
職員1人あたり患者数(人)	入院	53.3	65.5	66.6	55.5	136.5	135.7	132.6	195.9	98.1	100.6	103.5	175.1	年延外来患者数 年延入院患者数
	外来	13.6	11.6	13.9	11.5	12.1	13.9	16.5	8.0	-	-	-	3.6	
収入(円)	医師	7.2	7.6	9.3	6.4	16.5	18.9	21.9	15.6	-	-	-	6.3	年延医師数
	看護部門職員	1.5	1.3	1.2	1.3	0.9	0.9	0.8	1.0	-	-	-	0.8	
費用(円)	患者1人1日あたり診療収入	18,365	19,778	20,161	20,744	28,465	27,219	30,831	25,776	-	-	-	53,348	入院収益 年延入院患者数
	職員1人1日あたり診療収入	295,826	277,865	342,323	295,308	498,137	580,158	744,075	343,800	-	-	-	285,108	
対医療収益率(%)	患者1人1日あたり薬品費	715	682	663	1,087	547	540	543	1,302	-	-	-	3,976	薬品費(投薬注射) 年延入院外来患者数
	入院患者1人1日あたり給食材料費	887	906	918	334	792	765	786	346	-	-	-	308	
他	薬品費	4.6	4.2	4.0	6.2	2.3	2.2	2.1	7.7	-	-	-	12.8	患者用給食材料費 年延入院患者数
	その他医療材料費	2.0	2.5	2.1	1.4	4.5	5.7	5.5	6.0	-	-	-	11.7	
	他会計繰入金	51.3	54.2	53.2	55.2	48.5	49.5	49.0	34.1	-	-	-	12.7	他会計繰入金 医療収益

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。  
 2 全国同規模病院(R3)は、「令和3年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、こころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)  
 3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。  
 4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、参考として記載しており、また算出していない項目がある。

令和4年度三重県公営企業会計（病院事業庁）  
決算審査意見書

令和5年9月

三重県監査委員事務局  
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地  
電話(059)224-2924